



■ふりかえりと発表：児童

3つのグループに分かれ、視覚障がい者の方にもそれぞれのグループに入っていただき、一緒にふりかえりを行いました。

□実際に会ってわかったこと

- ・目が見えないというだけで、普通に暮らしていることが分かった。目の見えない人でも楽しい人生。
- ・編み物やエレクトーン演奏ができる人もいることが分かった。

□自分たちにできること

- ・困っている人がいたら声をかける。
- ・あいさつをする。



■ふりかえりと発表：保護者

保護者グループでは、子どもを地域の担い手として育てるための5か条を作成しました。

＝私たちの5か条＝

- 一、私たちは、関心をもって行動する
- 一、私たちは、共に学ぶ
- 一、私たちは、感動を周囲に伝える
- 一、私たちは、率先して動く
- 一、私たちは、一緒に楽しむ



■事後アンケートから抜粋

「児童の声」

- ・視覚障がい者の人を実際に誘導して責任を感じた。
- ・視覚障がい者の人達と一緒に出掛けてみたい。

「保護者の声」

- ・視覚障がい者に対するの見方が変わった。料理もメールもしていることに驚いた。
- ・言葉かけの大切さ、大人が思っている以上に子供たちは受け取っているように感じた。
- ・動いて、伝えられる大人になりたい。

■まとめ

視覚障がいの方との出会いによって、障がい者は何もできないのではないかとこの偏見を消し去ってくれたと思います。健常者でも障がいをもっていても、同じ人間です。

目が不自由な人は見ることにに対して不得意ということだけで、健常者も不得意なことがあるように、

お互いが不得意の部分の助け合えば良いのだと思いました。

出会いをきっかけに「共に生きる」ということを改めて学びました。

感じて、感心を持つ大切さ  
自分たちにできること



平成28年度 視覚障がい者とのカレーづくり

主催：真岡市社会福祉協議会

会場：真岡西分館・調理室

スーパーオータニ真岡店



2016. 11. 13 sun.

- 08:30 受付
- 09:00 開会・オリエンテーション
- 09:10 作戦会議  
どんなカレー？役割分担は？
- 10:00 買い物ツアー
- 11:00 調理
- 12:00 昼食休憩

- 13:10 視覚障がい者の講話
- 13:45 ふりかえり
- 14:50 発表
- 15:15 まとめ
- 15:30 閉会

■参加者 22人（内児童12人）

# 『ともに生きる力』を育む

この講座の体験を通して、障がいのある方への理解と認識を深め、日常生活において地域の一員として自分に何ができるかを考える機会を提供し、障がいのある人を含めた社会の様々な人と「ともに生きる力」を育むことを目的とし実施しました。

## ■事業概要とねらい

障がい者だから、何もできないのではないかな。もしかしたら、そのような先入観をもってしまうかも知れません。今回の講座は、直接視覚障がい者の方に対する理解を深め、実際はどうか？そして、私たちには何ができるのかを考えるきっかけづくりとして、このふれあい体験講座を実施しました。視覚障がい者の方と一緒にカレー作りなどを行ったことで、言葉では伝えきれないことを知っていただけたと思います。



## ■調理

視覚障がい者の方と一緒にカレーを作りました。野菜を包丁で切ったり、味見をしたりそれぞれが自分の出来ることを行いました。もちろん、視覚障がい者の方の中にも調理が得意な方もいれば、そうでない方もいます。それが個性です。美味しいカレーができました！！



視覚障がい者の方の見事な包丁さばき！！

## ■出会い

視覚障がい者の方5名を講師として招きました。参加者同士での自己紹介や視覚障がい者の誘導の仕方などを学びました。また、どんなカレーを作るのかそれぞれの役割はどうするのか、障がい者の方と一緒に考えました。



## ■会食

一緒に作ったカレーをみんなで食べました。私たちに出来ることは、時計の針を示すように「12時の方向におかずがあります。」や「3時の方向にお味噌汁があります。」等と具体的に伝えることだと思います。相手を思いやる“心遣い”が大切であることを学びました。



## ■買い物

視覚障がい者の方の日常生活も知って欲しいと思い買い物ツアーを行いました。一緒に買い物をして初めてわかったことが沢山ありました。視覚障がい者の方からは、どんな物があるかわからないので、具体的に説明してくれると嬉しい。触れるものであれば、触って確かめたいと。相手を思いやる気持ちがあれば自然と自分がどう行動したらいいのか、気づかせてもらえる機会だったと思います。



## ■講話

講話では、視覚障がい者といっても、先天性（生まれつき）全盲の方や弱視の方、途中から病気や怪我等によって（中途障がい）失明する方もいるため、人それぞれ違うということを学びました。また、日常生活で使用している道具等を見せてもらい、生活をするにあたって、日頃から工夫していること等の話をさせていただきました。

